

あとがき

大学の法人化を控え、あわただしい年度末を迎えておられる事かと存じます。今年度も信州大学環境科学年報第 26 号の発刊を迎えました。環境の問題は一朝一夕に解決するものではありません。継続の中に光を見出すことも多いかと存じます。

信州大学では、環境科学のテーマが 2001 年度から学長裁量経費による大型プロジェクトとして位置づけられ、一段の飛躍を夢みましたが、志し半ばで、裁量経費がストップしてしまいました。本年は、個人の努力による研究成果をとりまとめる事になりました。研究成果の出版費の一部が、学長裁量経費として認められましたので、それと「諏訪湖・天竜川プロジェクト」（科研費#14208070）の一部とを合わせた形で、この報告書を作成することになりました。

尚、2004 年 3 月 27 日に信大農学部 30 番教室にて信州大学山岳総合研究所と合同主催で公開シンポ「里地里山の生活と科学ー新たな山岳科学を求めてー」を開催します。発表者は 5 人全員、当研究会のメンバーです。次ページに、本研究会の公開シンポのプログラムを掲載しました。

さて、来年度からは繊維学部の中本信忠教授に、この会の世話役をお引き受けして頂くことになりましたので、皆様にご報告させていただきます。

世話役 信大農 吉田利男・星川和俊

2004. 3. 23.